



平成19年8月24日

各 位

会 社 名 株式会社カスミ
 代 表 者 名 代表取締役社長 小濱 裕正
 (コード番号 8196 東証第一部)
 問い合わせ先 常務取締役 兼上席執行役員経営
 管理本部マネジャー兼経営企画部
 マネジャー兼財務部マネジャー
 福井 博文
 (TEL. 029-850-1850(代))

特別利益・特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成19年8月24日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却すること及び借地権の償却方法の変更を決議いたしました。それらに伴い平成20年2月期の間中及び通期の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成20年2月期の間中連結業績予想の修正 (平成19年3月1日～平成19年8月31日)

(単位:百万円、%)

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A) (平成19年4月13日発表)	101,000	2,900	3,100	1,100
今回修正予想 (B)	101,000	2,900	3,100	700
増減額 (B-A)	-	-	-	△400
増減率 (%)	-	-	-	△36.4
前期実績 (平成19年2月期中間)	93,923	2,832	2,976	1,027

2. 平成20年2月期の間中単体業績予想の修正 (平成19年3月1日～平成19年8月31日)

(単位:百万円、%)

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A) (平成19年4月13日発表)	100,000	2,700	2,700	900
今回修正予想 (B)	100,000	2,700	2,700	300
増減額 (B-A)	-	-	-	△600
増減率 (%)	-	-	-	△66.7
前期実績 (平成19年2月期中間)	92,883	2,478	2,465	846

3. 平成20年2月期の通期連結業績予想の修正（平成19年3月1日～平成20年2月29日）

（単位：百万円、％）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成19年4月13日発表）	204,000	5,700	6,100	2,700
今回修正予想（B）	204,000	5,700	6,100	2,300
増減額（B-A）	-	-	-	△400
増減率（％）	-	-	-	△14.8
前期実績（平成19年2月期）	189,065	5,308	5,771	1,455

4. 平成20年2月期の通期単体業績予想の修正（平成19年3月1日～平成20年2月29日）

（単位：百万円、％）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成19年4月13日発表）	202,000	5,200	5,200	2,100
今回修正予想（B）	202,000	5,200	5,200	1,500
増減額（B-A）	-	-	-	△600
増減率（％）	-	-	-	△28.6
前期実績（平成19年2月期）	187,174	4,781	4,772	1,428

5. 特別利益計上について

投資有価証券売却益 約900百万円（見込額）

当社は、資産の効率化を図るため、保有投資有価証券を売却する予定によるものであります。

6. 特別損失計上について

(1) 過年度借地権償却費 1,060百万円（見込額）

従来、借地権（賃借した土地の整地等に要した費用）は償却を行わず取得価額で資産計上しておりましたが、当期より長期前払費用に計上し、賃借契約期間で均等償却する方法に変更いたしました。この変更は、小売業を取り巻く環境が大きく変化している中、当期において店舗の出退店政策の見直し、強化を行ったことに伴い、賃借期間満了時に有償返還が予定されていない借地権については、賃借契約期間で均等償却し営業費用として認識することが、期間損益をより適正に表示し、かつ、財政状態のより健全化を図ることとなるため行ったものであります。

(2) 関係会社整理損 約300百万円（見込額）

単体業績に与える影響は、関係会社整理損として300百万円程度が計上される見込みであります。なお、連結業績に与える影響は軽微であります。

（本日発表の「子会社の解散及び清算に関するお知らせ」をご参照ください。）

7. 修正の理由

上記理由により特別利益、特別損失を計上する見込みにより連結業績予想の修正及び単体業績予想の修正を行うものであります。

以 上